

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	チャレンジャー 巻店	
建設地	新潟県新潟市西蒲区巻甲4205外	
用途地域	準住居地域、第二種住居地域、法第22条区域	
建物用途	物販店,	
竣工年	2022年4月 予定	
敷地面積	9,579.07 m ²	
建築面積	3,381.70 m ²	
延床面積	3,152.23 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2021年10月21日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{41.2}{38.8} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.7		節水	LR2.1.1 3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

1.長寿命化の取組み:設備配管はメンテナンス・修繕等を考慮し天井配管計画とした。
 2.省エネルギーへの取組み:照明はLED照明を採用し、エネルギーの効率化に配慮した。
 3.新潟のまちなみへの取組み:植栽・駐輪施設・エントランス前のオープンスペース等を設け、地域性への配慮および快適性の向上に務めた。

CASBEE新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	チャレンジャー 巻店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西蒲区巻甲4205外	構造	S造
用途地域	準住居地域、第二種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,200時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年10月21日
敷地面積	9,579 m ²	作成者	株式会社ノア設計事務所 高桑 弘
建築面積	3,382 m ²	確認日	2021年10月21日
延床面積	3,152 m ²	確認者	株式会社ノア設計事務所 高桑 弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.6		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		
1.長寿命化の取組み: 設備配管はメンテナンス・修繕等を考慮し天井配管計画とした。 2.省エネルギーへの取組み: 照明はLED照明を採用し、エネルギーの効率化に配慮した。 3.新潟のまちらしさへの取組み: 植栽・駐輪施設・エントランス前のオープンスペース等を設け、地域性への配慮および快適性の向上に務めた。		その他 特に無し
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。補修必要間隔の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 空地率を大きくし、また、緑地を設けることにより良好な景観を形成している。外灯の設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明、高効率給湯器を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。駐輪場利用者の利便性に配慮し、また、管理用車両・荷捌き車両の駐車施設の確保や出入口に配慮するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される